

ご質問・ご意見に対する回答 (2022年5月26日号)

弊社 web サイト等よりお寄せいただきました主なご質問・ご意見に対し、以下のとおり回答を公開させていただきます。

なお、以下の回答は、お寄せいただきましたご質問・ご意見の中から回答を公開すべきと弊社が判断をしたものであり、お寄せいただきましたすべてのご質問・ご意見に対するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

Q1	<p>BARDA とのプロジェクトについて質問です。</p> <p>テキサス大学の Web サイトに、塩素誘発急性肺損傷の臨床的に関連するヒツジモデルにおけるイブジラスト (MN-166) の安全性と薬理的活性のプラセボ対照前臨床評価についての情報が公開されておりますが、そこに記載されているプロジェクト期間が 5/20/2021-4/1/2023 となっております。契約が延長されたのでしょうか？</p>
A1	<p>BARDA (米国生物医学先端研究開発機構) と共同で進めている MN-166 (イブジラスト) を塩素誘発急性肺損傷に対する治療法・医療対策 (MCM) として開発するプロジェクトにおきまして、ヒツジモデル試験を実施する目的で、昨年 5 月 20 日付でテキサス大学と委託研究契約を締結いたしました。テキサス大学が公的機関と共同研究を実施する場合の研究契約書の様式に従い、当初は 2021 年 5 月 20 日から 2022 年 4 月 1 日までをプロジェクト期間として設定し、その後は状況に応じて適時延長するという内容で契約いたしました。</p> <p>今年の 3 月上旬時点でヒツジモデル試験が継続中であったこと、また、薬物動態試験などの新たな試験も加わったことから、当初のプロジェクト期限である 4 月 1 日以降も研究活動が継続になることが明確となり、テキサス大学との契約を延長いたしました。</p>
Q2	<p>MN-166 (イブジラスト)、2021 年末を目途に点滴用に作り替えると発表されていたと思いますが、本プロジェクトの進捗は現在どのような状況か教えていただきたいです。</p>
A2	<p>ご質問は、2021 年 1 月 12 日公表の「第三者割当による新株式の発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」に記載されている調達資金の具体的な用途についてのものとして回答させていただきます。</p> <p>まず、MN-166 (イブジラスト) の点滴用製剤については作り替えるのではなく、新たな製剤として静脈注射剤を開発しております。</p> <p>現在の進捗状況ですが、既にプロトタイプが完成しており、今期中に健康成人におけるフェーズ 1 試験 (薬物動態試験) の開始を予定しております。</p>

以上

MediciNova, Inc. (メディシノバ・インク)

東京事務所 IR 担当

E-mail infojapan@medicinova.com

URL <https://medicinova.jp/>